



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校
学校だより
令和8年(2026)1月27日
校長 塩見 登

(第2回) 学校教育力向上に向けたアンケート結果 (保護者)

12月に行われた三者懇談の時期に学校評価アンケートをすぐ一冊で配信させていただきました。236名の回答をいただき、前年度(回答数159)に比べても多数の方々が回答していただき大変ありがとうございます。学校教育力を向上させるためには回答数が多いほど今後に活かすことができますので、来年度以降も御協力を賜りますようお願い致します。この結果につきましては、学校運営協議会・教職員と共有し、今後の学校改善につなげて参ります。

*生徒の結果については次号で掲載させて頂きます。

*数値は「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した人数をあわせた割合になっています。

*令和7年度前期より3%以上上がった(↑) *令和7年度前期より3%以下がった(↓)

設問	前期	後期
①子どもは安心して楽しく学校に通っている	86%	86%
②学校の雰囲気がよく、生徒がいきいきと活動している	90%	89%
③学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる	93%	90% ↓
④学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている	94%	91% ↓
⑤学校は生徒指導上の問題を見逃さず対応できている	86%	87%
⑥学校は、保護者からの連絡や相談に迅速且つ適切に対応している。	95%	95%
⑦学校行事の時期は適切である	93%	94%
⑧学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている	85%	82% ↓
⑨子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う	67%	64% ↓
⑩子どものことについて、先生と気軽に相談できる	88%	88%
⑪子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができている	43%	40% ↓
⑫家庭では学校の話題など、子どもとコミュニケーションが図れている	86%	85%
⑬子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている	89%	89%
⑭家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている	98%	96%
⑮子どもは家庭では早寝・早起きに心がけている	62%	62%
⑯子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ会話している	85%	84%
⑰子どもは、朝ご飯を毎日きちんと食べている	87%	87%
⑱ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている	68%	60% ↓
⑲子どもは朝夕の検温など健康観察をしっかり行っている	33%	31%
⑳子どもはハンカチを携行している	46%	44%

□ ■ □ ■ 学校生活について ■ □ ■ □

①～⑦の項目に対して前期と比較してみると、90%は超えているものの、「学校は、生徒の人間性や人権を尊重した接し方ができている」の項目で3%下がっています。1学期2学期と過ごしていく中で教職員と子どもたちとの人間関係が構築されてきている反面、言葉遣いなど丁寧な対応をもう一度見直す結果となっています。また「学校の様子が、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる」の項目については、多くの方々に肯定的意見をいただいておりますが、前期より少し数字を落としております。本市の学校ホームページにつきましてはリニューアルされ新しくなっております。「大淀中学校」で検索していただき、活動の様子をご覧頂きたいと思います。

□ ■ □ ■ 学習面について ■ □ ■ □

学習面については、前期に引き続き課題が浮き彫りになっています。「子どもには基礎的・基本的な知識や技能、学力がついてきていると思う」「子どもの家庭学習習慣は定着し、自学自習ができる」との項目において低い数値を示して

います。また、「学校では、楽しく、わかりやすい授業が行われている」の項目も前期より低い数値を示しています。今後の大きな課題として、授業で学んだことを定着させるような授業改善をしていくことが大切であると考えます。また、総合的な学習の時間のゼミ方式による探究活動を通して子どもたちが探究し学ぶことへの意欲が向上するような取り組みを今後も研究していく予定です。

□■□■家庭生活について■□■□

「子どものよいところをほめるなどして、自信を持たせるようにしている」「家庭では社会のルール、規範意識の高揚に努めている」の項目で前期と同様に高い数値があります。各ご家庭で子どもたちとしっかりコミュニケーションをとっておられる証だと思います。しかし、「ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている」の項目では、大きく数字を落としています。多くのご家庭でSNSの使用に関するルール決めに苦労されていることがうかがえます。ご家庭とも連携しながら、学校では情報モラル教育を引き続き行なっていきます。

2月5日は「京都はぐくみ憲章の日」

大人は、子どもの可能性を信じ、自ら育つ力を大切にして、子どもを見守り、褒め、時には叱り、共に成長していくことが求められます。そして、子どもを取り巻く状況を常に見つめ、命と健やかな育ちを脅かすものに対して、毅然とした態度で臨む必要があります。子どもたちの今と未来のため、家庭、地域、学校、企業、行政など社会のあらゆる場で、人と人の絆を結び、共に生きるうえでの行動規範として2007年2月5日に「京都はぐくみ憲章」が定めされました。

本校でも、引き続き保護者や地域の皆さんと連携し、子どもを真ん中に置いた教育活動を推進していきます。

～淀から世界へ(校長の独り言)～

京都はぐくみ憲章



～子どもを共に育む京都市民憲章～

わたくしたちは、

- 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。

平成19年2月5日 研究会～こども実験の日 制定
3月1日 京都内会が誕生年を決議

“サザエでございます お魚くわえたドラ猫 追っかけて～”私が生まれる前から放送されているこの国民的アニメ。長寿番組としてギネス世界記録を保持しているそうです。しかし、30年前の自分は、サザエさんに苦しめられました。サザエさん症候群です。月曜日朝7時30分からの大阪本社会議。営業マンが全員集められ、前週の目標に対しての数字の報告、そして今週の目標の提示。超絶パワハラ上司とペアを組んでいた私は、数字が達成できなかったことを社長に報告するともう最悪。月曜日の朝から直立不動で2時間を超えるお説教が始まります。社員がいる前で罵声を浴びせられ、胸ぐらを掴まれることもありました。そんな毎日の中、売り上げを上げるチャンスが巡ってきます。担当の鳥取で一番の小売店の売出セールに行くことになったのです。しかし、ペアは超絶パワハラ上司。嫌な予感しかしません。上司は前日に営業車で前入り。私は、業務を終えて夜行バスで米子へ。到着早朝4時。こんな早朝に到着してみんなどうする？そうです、みんな迎えがあるのです。私の待ち合せは、7時。冬の米子は寒い。残念ながら早朝米子駅前に時間を過ごせる場所はなし。ただ歩いて時間をつぶす。冬の夜明けとともに、上司と合流。お店のセールは大成功。小売店の社長も上司もご満悦。社長宅に招待された各会社の営業マンは、鳥取の力二とごちそうでもてなされます。しかし、そんなご馳走ものどを通りません。ひたすら挨拶。そして、言われるがままにお酒を・・・。ライバル会社の若手に負けられない一心で。そんな時代だったかもしれません。そんな姿を見て、小売店社長も上司も上機嫌。気づいた時には、社長の家でイビキをかいてしまいます。上司にたたき起こされ、担がれホテルへ。全く記憶がない中、翌朝を迎えます。頭がガンガンする中、運転もできず上司が運転、部下の私が助手席に座る最悪の状況。米子から大阪まで説教が続きます。4時間ノンストップ。どちらかというと怒るのが苦手な私には、神レベルです。本当に厳しかった。嫌いだった。逃げ出したかった。そんな時に偶然出会った、青年海外協力隊募集のポスター。これだあ！ここに逃げよう！しかし、人生そんなに甘くはありません。半年に一回募集がある協力隊も自分のような特技がない人は合格できません。1回目受験不合格。2回目受験不合格。そして、1年半の月日を経て、3回目で合格通知を手にすることが出来たのです。こんな私でも会社からは惜しまれつつ退職。上司とは最後までペアでした。しかし、あれだけ憎んでいた上司に今では感謝しかありません。彼に会ったから今がある。退職後、毎年年賀状を出していました。上司も退職したそうです。宮城県気仙沼市出身。あの2011年以降、年賀状が来なくなりました。本当に嫌いでした。けど、どこかで元気でいてほしい。次号、いよいよ、世界に飛び立つかな？？